

〔報道〕  
『都新聞』 昭和十三年八月二十八日 (34)



### 文展審査員顔触れ決る

戦時下に開かれる第二回文展審査員につき文部省では銓衡を急いでゐたが第一部(日本画)、第三部(彫刻)、第四部(工芸)の主任並に審査員の顔触れを決定、廿七日午後発表した。今回は第一回文展と異つて、第三部、第四部は従来の十三名を十五名にして審査員を充実した。

## 文展審査員顔触れ決る

### 一二部も内定

十五名中四名を残して

戦時下に開かれる第二回文展審査員につき文部省では銓衡を急いでゐるが第一回文展と同様に、第二回文展審査員の顔触れを決定、廿七日午後発表した。今回は第一回文展と異つて、第三部、第四部は従来の十三名を十五名にして審査員を充実した。

第一部(主任・菊池契月、西山翠嶂、川村曼舟、鏑木清方、松林桂月、安田鞞彦、前田青邨、堅山南風、服部有恒、森白甫、児玉希望、山口華楊、金島桂華、徳岡神泉、廣島晃甫(以上十五名))

第二部(主任・山崎朝雲、平櫛田中、岡野聖雲、佐々木大樹、建畠大夢、中村直人、堀進二、北村正信、吉田三郎、安藤照、小倉右一郎、斎藤素嚴、三木宗策、雨宮治郎、加藤頭清(以上十五名))

第三部(主任・板谷波山、清水六兵衛、宮之原謙、沼田一雅、山本安曇、杉田禾堂、香取正彦、北原千鹿、海野清、堆朱楊成、松田権六、高野松山、鹿島英二、廣川松五郎、各務鑛三(以上十五名))

第四部(主任・梅原龍三郎、青山義雄、牧野虎雄、伊原宇三郎、阿以田治修、川島理一郎、小林萬吾、辻永、田邊至、中村研一各氏)

残り四名については、一水会の石井柏亭、安井曾太郎、春陽会の中川一政、木村莊八各氏に交渉する筈であるが、石井柏亭氏は目下北支戦線視察中なので、十五名の決定は当分延期されるものと見られてゐる。

### 二部も内定 十五名中四名を残して

尚第二部(洋画)は十五名の内左の十一名が内定した。

主任・藤島武二、梅原龍三郎、青山義雄、牧野虎雄、伊原宇三郎、阿以田治修、川島理一郎、小林萬吾、辻永、田邊至、中村研一各氏。

残りの四名については、一水会の石井柏亭、安井曾太郎、春陽会の中川一政、木村莊八各氏に交渉する筈であるが、石井柏亭氏は目下北支戦線視察中なので、十五名の決定は当分延期されるものと見られてゐる。